

# 県民が納得する徹底した検証を求め、花角知事に申し入れ

去る11月27日に柏崎、28日に刈羽で、新潟県は「原発事故に関する三つの検証の説明及び意見交換会」を突如開催しました。三つの検証の結果を取りまとめる「検証総括委員会」が開かれ、そのまま、検証委員の出席もなく、市民の意見は反映されないなど多くの問題がある会でした。

今後、上・中・下越で同様の説明会を開催する方針とのことで、急遽、原発ゼロ長岡市民ネットとして延期を求める申し入れを12月24日に行いました。

(申し入れ書は裏面に掲載。ご覧ください。)

コロナ禍で懇談できないとの理由で、1月13日付原子力安全対策課長名で以下の内容の書面回答がありました。

★**申し入れ1** 今後計画しているとされる上・中・下越での「検証の説明及び意見交換会」を延期すること。

【**回答1**】今後の開催については、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮しながら検討しているところだ。

★**申し入れ2** 「検証の説明及び意見交換会」を行うにあたっては、次の事項が満たされていること

(1) 3つの検証委員会の検証を持ち寄り検証総括委員会で論議し、不十分な点はフィードバックして更に検討を加えた上で、検証総括委員会が報告書をまとめること  
(2) 本来、福島事故の検証は新潟県に存在する柏崎刈羽原発に生かしていくためのものである。したがって、技術委員会以外の各委員会も柏崎刈羽原発に対して何を教訓とし何が課題かを明らかにすること。

【**回答2**】今回の説明及び意見交換会は、県民の皆さんと福島原発事故に関する3つの検証について情報を共有するため、検証の状況とこれまでに県に提出された個別の検証報告書について説明するために開催したものです。このことから、説明及び意見交換会の開催にあたって(1)(2)の事項を満たす必要があるとは考えていません。

★**申し入れ3** 「意見交換会」で出された意見は、持ち帰って検証総括委員会で議論し必要があれば各委員会で検討するなどして、提言に反映すること。

【**回答3**】いただいた意見については、まずは県で対応を検討します。なお、検証総括委員会の任務は、各検証委員会の検証結果に矛盾等がないか確認することであり、検証総括委員会で個別の課題を議論することは求めていません。

以上

原発の危険から県民のいのちを守るために検証委員会を最大限に生かそうとする姿勢に欠ける回答と言わざるを得ません。花角知事は検証委員会設置の原点に立ち返り徹底した検証を保障するよう求めます。



前知事で5区選出の衆議院議員  
**米山隆一さんが県に情報公開請求**

知事時代に今の原発の検証の仕組みをつくった米山さんが、検証総括委員会が開かれないうちや委員を再任しなかつた理由について、県庁内での議論の過程を示す資料を情報公開条例に基づき県に請求したと発表しました。

期待し応援しながら見守っていきましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



1,800本以上の未点検のくい  
1,580か所の手抜き溶接が発覚  
とどまるところを知らない  
不祥事続きの東電の再稼働  
は認められません。

5月の知事選で、**原発再稼働にきっぱりNO!**と言える知事を選出しましょう!

原発事故から11年の  
**3月11日がやってきました**  
午後からスタンディング等の  
行動を予定しています。  
詳細は次号でお知らせします

新しい年2022年を、**原発再稼働NO!** **原発ゼロ!**への希望の年に!

2月のアオーレ前11日行動は、2月11日(金・休)12時~12時半です。ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第119号 2022年1月3日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 0258-24-2870  
佐藤 090-4925-3707